

GPSを用いた児童を見守る防犯システム

「安全で安心できる街づくりを」 地域コミュニティ再生による犯罪の少ない街づくりを目指し、NPO法人ものづくり品川宿は品川区と連携して、児童見守りシステムを開発した。同区内の公立小学校に通うすべての生徒および品川区在住の私立小学校生徒1万2000人がスクールベル「まもるっち」を携帯。緊急時に本体を引っ張ると警報ブザーが鳴り警告を発すると同時に、防犯管理センターや学校、保護者に発信者のIDが通知される。

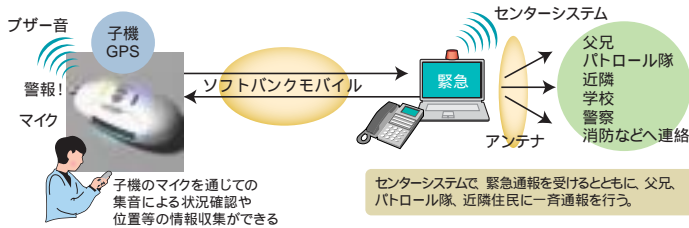
こうしたシステムにおいては、児童がどこにいるかが早期解決への重要情報となる。今回は、YOZANに端末開発を依頼してPHSによる運用を開始。現在はソフトバンクモバイル網上でGPS機能を利用して児

童の位置を把握できるようにした。

端末は警報ピンと発信ボタンを備えた携帯電話機だ。本人が希望すれば通話料自己負担で通話にも利用できる。登録できる電話番号は2カ所までであるため、目的外利用をしたり通話料がかさむ心配もない。また、着信も可能なので、警報時に電話をかけ、緊急度を確認することができる。

当初は誤報も多く、その都度緊張感が走ったが、最近ではそれも減ったとのことだ。現時点で緊急を要する通報は7件確認されている。

運用イメージ(緊急時通報)



Profile

特定非営利活動法人ものづくり品川宿
http://www.shinagawa-juku.or.jp/

所在地

東京都品川区大井4-29-22
ものづくり創造センター内

事業内容

ものづくりのアドバイス、新事業の創出、連携促進、調査研究、PRなど